

<b>評価領域</b>	学習指導・研究
-------------	---------

<b>重点目標</b>	社会に参加する力を育む教育活動や実践研究充実事業の展開
-------------	-----------------------------

<b>現 状</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自立と社会参加を目指して、地域の特色や教育資源を生かした地域に展開する授業づくりのために教育課程の編成を工夫している。</li> <li>2 「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえるとともに、「観点別の評価」を取り入れ、質の高い授業づくりを推進している。</li> </ol>
------------	---

<b>具体的な目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 公開授業研究会、授業に係る研修講演会、一人一授業研等により教職員の授業力アップを行うことで児童生徒の変容を図る。</li> <li>2 小の交流学习、中の地域学習、高の地域展開等の活動を振り返り、成果と課題を集約する。</li> <li>3 社会参加の力を育み、高等部3年生の一般就労率60%を目指す。</li> </ol>
---------------	---

<b>目標達成のための方策</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文科省委託「特別支援教育に関する実践研究充実事業」を活用し、授業研究会、公開授業研究会等を計画的に開催する。</li> <li>2 地域とつながる授業を実践し、それぞれの評価から成果と課題を明らかにし、教育課程の評価・改善・編成に生かす。</li> <li>3 就労に向け、実習やボランティア活動を通じて、地域とのつながりを強め、地域に展開する活動を継続していく。</li> </ol>
-------------------	--

<b>具体的な取組状況</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 文科省の委託を受けて、本分校委託研究推進委員会並びに委託研究推進委員会（本校）、教育課程検討委員会、授業研究に係る職員研修会の開催、全校研究会、各学部による全校授業研究会とその事前研究会を計画し行った。さらに「一人一授業研」を行い、教員の力量アップを図った。</li> <li>2 地域や農場をキーワードに年間を通じた小学部の近隣小学校との交流学习、中学部の地域で学ぶ生活単元学習、高等部の地域とつながり地域に展開する学習を行った。</li> <li>3 地域での現場実習を積み重ね、就労に向けて前期実習、後期実習、定期実習を行った。</li> </ol>
-----------------	---

	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 年6回の本分校委託研究推進委員会、年5回の委託研究推進委員会（本校）、年6回の教育課程検討委員会、授業研究に係る職員研修・講演会、年4回の全校研究会を開催し、目</li> </ol>
--	--

P

D

<b>達成状況</b>	<p>標に迫ってきた。また、県内外の研究会にも参加し、視察報告会で伝達し、周知することができた。</p> <p>2 主体的・対話的で深い学びの視点から授業づくりを行い、その視点から授業を説明できる職員が80%を超えた。また評価についても観点別学習状況の評価を取り入れて行っている。</p> <p>3 児童生徒のエピソード記録・分析をまとめることで、児童生徒の変容をとらえることができた。</p> <p>4 高等部3年生15名中、一般就労7名、福祉施設利用8名となった。一般就労率は47%だったが、希望する7名全員が一般就労することができた。</p>	
-------------	--	--

<b>自己評価</b>	<p>(評価) A</p> <p>(根拠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 文科省公開研究会を見据えた授業研や自発的に行った「一人一授業研」や職員研修会等の実践を重ねたことで、研究についての理解が深まり、授業の質の向上が見られた。</li> <li>・ 学部での共通理解や全校での共通理解を繰り返したことで、一丸となって取り組むことができ、児童生徒の変容も顕著であった。</li> <li>・ 希望する全員が一般就労に就くことができた。</li> </ul>	<b>C</b>
-------------	--	----------

↑ 評価基準

A : 具体的な活動がなされ目標を達成できた  
 B : 具体的な活動はなされているが、目標は達成できていない  
 C : 具体的な活動がなされておらず、目標も達成できていない

↓

<b>学校関係者評価と意見</b>	<p>(評価) A</p> <p>(意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施策が順調に実施され、定着したことにより地域との関係は良好である。</li> <li>・ 地域販売、町の清掃等、積極的にいろいろな場所で子どもたちが活躍していてよかったと思う。</li> <li>・ すばらしい活動が展開されていることがよく分かり、高く評価したい。特に子どもたちの充実した姿に心が打たれる。</li> </ul>	<b>C</b>
-------------------	--	----------

<b>自己評価及び学校関係者評価に基づいた改善策</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次年度の公開研究会を見据え、今年度の反省を踏まえながら、さらに研究を深めていきたい。</li> <li>・ 農作物等の6次産業化や地域交流については、校舎改築を機に、新たな教育課程の編成を進めたい。</li> <li>・ 地域の特色や教育資源を生かした地域に展開する学習は児童生徒の変容が見られ、効果的であった。新聞・テレビ等でもたびたび取り上げられたこともあり、地域からの関心も高い。今後は地域への発信についても工夫・改善していきたい。</li> </ul>	<b>A</b>
------------------------------	---	----------